



第792号 2013 年 4 月 7 日発行 日本共産党裾野支部

明るい裾野



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2

岡本和枝 tel/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101

http://www16.plala.or.jp/ozawa_ryouiti

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

困ったことがあったら小沢、岡本のなんでも相談へ

① 3月議会の報告 ② オスプレイ反対御殿場集会 ③ 「健康」は「わやみを止める方法」

**共産党議員団が大橋市長
の2013(平成25)年度 一般
会計予算へ修正案提出
修正案に賛成が3名!!**



地方自治法では、議会議員が市長の言いなりではなく、議員が積極的に税金の使い方にに関わり、「市長にお願い」ではなく、自らの判断で行動する事を求めています。具体的には市長が提案した予算案に対して税金の使い方に問題点があれば修正案を提案して議会で賛否を問うと言うことです。この行為は議員定数の1/12で行うことができます。裾野市は21名ですから2名居ればできます。共産

党議員団は2名居ますので今年も積極的に修正予算を提案しました。

修正案に賛成は3名で、反対17名、（議長は行司のため採決不参加）で否決され、市長提案予算が可決されました。

共産党議員団の修正案は2項目

**臨時保育士は市の直接雇用から人材派遣会社からの派遣に
手数料を減額する修正案**

裾野市の保育所勤務している保育士（2011年度実績、保育士96人の中臨時保育士は66人）の約7割が1年未満の雇用繰り返している

臨時保育士です。そのため市正規保育士と同様の仕事勤務をしながら賃金待遇差別が存在します。そのため保育士を止める臨時職員が続出、常に臨時保育士の募集をしています。集まらず苦労の末に思いついたのが人材派遣会社から保育士を派遣して貰う方法です。子育てに重要な保育士を行政が直接関わらない事は問題として派遣保育士予算を減額（182



1万円)市の直接雇用額に変更増額しました。

裾野駅西土地区画整理事業の新道平松線西側地域は中止を

区画整理事業に多額の税金(当初190億円から300億円に増額)が掛かるとして見直しをした市の計画案が示されました。その主な点は、新道平松線西地域は①家屋移転が事業費に多額の税金を使うとして移転家屋を少なくして公共施設の道路は現在の道路を生かす拡幅事業に。②新築、増築・改築を認める。③停車場線(新道平松交差点から旧246号二本松交差点間)のプロムナード幅10mは廃止等です。共産党議員団はこの計画案ならば区画整理事業で行わなくても、期間を掛けて買取方式で西地域整備をしていけば良いとして見直し事業の設計計画費用7千万円の予算減額をしました。

3月議会報告

岡本和枝の一般質問から

岡本和枝は、一般質問で「生活保護引き下げの社会的影響について」大橋市長の見解を聞きました。

質問⇒自公政権はマスコミなどを巻き込んで生活保護基準の引き下げの流れを作ってきました。しかし、所得の格差が拡がり、低所得者世帯の消費水準が低下し、生活保護が必要な世帯が増えている時に基準を引き下げるとは憲法25条(健康で文化的な最低基準を保障する)の規定から見ても妥当ではありません。社会全体の生活水準引き下げへと連なって

いく危険性をはらむもの^{るる}です。厚生労働省も影響が出る制度を縷々挙げざるを得なくなっています。

大橋市長の答弁＝急速に進む高齢化や厳しい社会状況もあり、当市における生活保護受給者は年々増加しております。生活保護制度は、我が国の社会補償制度の根幹を担う重要な制度であると認識しております。このように国の重要な制度であることから、絶えず社会や経済の変化に適應できるように、制度の見直しは必要であると考えます。政府は、平成25年度から3年間で生活扶助基準を6.5%引き下げることとし、生活保護費全体で総額740億円の削減を行うと発表しましたが、現状では引き下げについての具体的な内容が示されておられません。当市と致しましては、公的扶助制度の大きな転換点と捉え自立支援や就労支援、ジェネリック医薬品の推奨など、生活保護費全体の抑制に努力して参りたいと考えております。

健康福祉部長答弁＝生活扶助基準の見直しに伴う他の制度への影響については、それぞれの制度の趣旨や目的、実態を十分に考慮しながら、できる限りその影響が及ばないよう対応することを国は基本の考えとしています。今回の生活扶助基準の見直しに伴い、低所得者世帯のこどもがいる世帯に学用品などの購入費を支援する就学援助、個人住民税の非課税限度額、最低賃金、保育料、国民健康保険料、介護保険料への減免制度などが考えられます。今後は、関係機関や他の自治体の動向も踏まえ、対応を検討してまいり対と考えております。

☆ 平成25年度裾野市総合計画運営指針(市が平成25年度に具体的にどのような取り組みを進めるかをまとめたもの)で、「生活保護」については、**課題**として、

・生活困窮者の自立助長に対する相談体制をさらに整備

していく必要があるとし、**具体的な取り組み**として、①生活保護事業、セーフティネット支援対策事業等を適切に運営し、必要な市民への支援を実施する。②生活困窮の連鎖からの脱却を支援させるため稼働年代に対する積極的な支援働きかけを行う、等の方針が立てられています。



もかけ離れた無策な事業計画と非難を受けるでしょう。当面何処に駐車すれば良いのでしょうか。

高齢者受給証(70才~74才)の医療費自己負担割 いつまで続くのかしら

高齢者受給証が市から送られてきたが、2割の後に()で(平成25年7月31日まで1割)と記載されていました。物価が上がってきている中で医療費自己負担は何時から2割になるのか心配です、の問い合わせが小澤議員に有りました。



裾野駅西南側の市営駐車場が廃止なんてこれから何処に停めれば...

市営駐車場は今年の3月31日で廃止されました。これは裾野駅西土地区画整理事業の一環で駐車場を住宅地として土地を提供するためです。これに代わる駐車場は現在考えられていません。駐車場は国鉄清算事業団から駐車場として使用する目的で譲渡された土地です。市の勝手な事業計画で市営駐車場がなくなる事は「市街地の活性化」のお題目から



本来は2割(一定所得以上の方は3割)ですが所得の低い一般高齢者は2014年(平成26年)3月31日まで1割が継続されます。医療費の負担割合は本人1割、公費(国)が1割、自治体の国保が8割です。保険証の更新日が8月1日なので7月末までには来年の3月31日までの受給証が送られてきます。1割は自民公明党政権が2013年度も1割継続を表明して国家予算がついている結果です。しかし2014年(平成26年)はどうなるか不明です。

オスプレイの配備撤回・低空飛行訓練中止を!「住民の会」発足総会&記念学習会



低空飛行するオスプレイ。写真撮影は大久保氏

3月31日に、御殿場市民交流センター(ふじざくら)で表記発足総会・学習会があり、参加しました。勝又幸作氏(東富士演習場地域農民再建連盟委員長)と大久保康裕氏(沖縄県平和委員会事務局長)による報告・講演を聴きました。



大久保氏の講演の中で、「オスプレイの訓練地域や飛行コースなどが危惧されているが、実はもっと危険なことが明らかになっている。それはオスプレイが「人道支援・災害救助」を行う、となっていること。「人道支援・災害救助には訓練地域も飛行コースも制限など無い、勝手

気ままにやりたい放題できる」ということと指摘がありました。さりげなくこっそりと美辞麗句で、とてつもなく危険なことが書き込まれていました。「始めチョロチョロ、中パッパ、反対あってもオスプレイ」

毎日の生活習慣で まずは健康を 「かゆみを止める方法」

「かゆい〜っ!!」のはとってもつらいですね。痛いより我慢できません。虫に刺されたり、草などにかぶれたりした場合は薬で抑えるより仕方ありませんが、「なにもないのに足がかゆい」とか、おまけに、「薬をつけても治まらない」とかの悩みが年をとると多く出てきます。ものすごくかゆいので、「えーいっ!! やっつけてやる」とバリバリ搔くと、余計にかゆくなる経験がありませんか?

こういうときに、指をかゆいところにそっと当ててみてください。そ〜っとさすってもいいです。「あれっ?」かゆみが、すっかりではないけれど、ぼーっと消えていることに気がつくはずです。

「ものすごくかゆい」のは、多分ほとんどが「かゆさの過大誤発信」といえるのではないかと思います。原因は、皮膚上のほんのわずかななんらかの「事件」なのですが、「神経というマスコミ」が過大誤発信してしまうのです。過大誤発信なので、指先で優しくちょっと触るだけで消えるのです。私の経験ですが、みなさんお試しください。(友)